

「相手を思いやる心 心を潤す4つの言葉」

教頭 田中浩二

今年は様々な場面で「3年ぶり」という言葉を耳にしたのではないのでしょうか。

本校でも、10月1日（土）に開催した運動会は「3年ぶり」に全校児童が校庭に集まり、競技に、演技に力を尽くしました。全校で取り組む応援合戦と大玉送りの実施もちろん「3年ぶり」。700名を超える子どもたちが手に汗握り、歓声と拍手が青空に響き渡った運動会となりました。また、11月26日（土）の校内音楽会では、「3年ぶり」に保護者の皆様に子どもたちの歌声を直接届けることができました。はじめはちょっと緊張していた子どもたち。歌い終わった後、保護者の皆様の温かい拍手に包まれ、誇らしげな表情が印象に残っています。たくさんの人と関わりながら、多くの経験を通じて、子どもたちが成長した2学期だったと思います。保護者の皆様、地域の皆様、今学期も子どもたちを温かく見守り、励ましてくださりありがとうございました。

さて、本校では11月を、「心を潤す4つの言葉」推進月間とし、校内にポスターを掲示したり、代表委員の児童があいさつキャンペーンを行ったりしました。さいたま市は、子どもたち一人ひとりの心が通い合う学校や地域づくりを目指し、子どもたちが、家庭や学校だけではなく、共に暮らす地域の方々に対しても自然に発することができるように「心を潤す4つの言葉」を推進しています。「心を潤す4つの言葉」とは、よりよい人間関係を築くために、コミュニケーションの基盤となる言葉であり、以下の4つとなります。

気持ちのよいあいさつ「おはようございます」
気持ちのよい返事「はい」
感謝の気持ちを伝える「ありがとうございます」
素直に謝る「ごめんなさい」

4つの言葉の語源を調べてみると、どれも相手を思いやる気持ちから生まれたようです。「ありがとうございます」や「ごめんなさい」は、相手への感謝や謝罪を伝える言葉なので想像がつくと思います。「おはようございます」の起源は歌舞伎であり、相手を労って使っていた言葉が始まりとされています。また、「はい」は「拝」という字が語源とされ、相手を敬う気持ちの現れだそうです。つまり、4つの言葉を相手に届けることは、相手を大切にし、相手を思いやる心を伝えていることとなります。これからも「おはようございます」「はい」「ありがとうございます」を大宮小学校いっばいに響かせていきます。そして、素直に自分から「ごめんなさい」が伝えられるといいなと思います。ぜひご家庭でも「心を潤す4つの言葉」を使っていたいただければ幸いです。よろしくお願いします。

今年は「3年ぶり」に行動制限のない年末年始となりそうです。お世話になった方々、いつもはなかなか会うことのできない方々と会う機会がたくさんあるかと思います。いつも以上に相手を思いやる心を言葉にのせて伝えてみてはいかがでしょうか。

そして令和5年も相手を思いやる言葉がたくさん響く大宮小学校を目指していきます。